



自立 開拓 共生

横浜市立泉が丘中学校 学校便り

一面

# 泉中リアル改 6月号

平成30年 6月 12日 発行者：学校長 小菅隆司  
電話：045(802)8797

梅雨です。今年前半の大きな学校行事は終了。  
部活や課外活動のシーズンに突入です。 学校長 小菅隆司

6月に入り、関東地方も梅雨入りしました。雨はあまり好きではないですが、これも日本の季節の良さのひとつ。暑い夏、楽しい夏休みが来るまでガマンすることとします。

学校の5月は、今年最初の大きな行事月。一年、二年生の校外学習、中学校最大のイベントともいえる修学旅行があり、結果、通常の学校生活の本格化するのは6月からになります。先週は、今年初めての中間テストと勉強も軌道に乗り始め、22日には生徒総会が開催され、委員会活動計画も発表されます。更に中学校の花、部活動も7月一杯、大会・コンクールと続く予定で生徒は、今一心不乱に練習に打ち込んでいる最中です。3年生は、大半このシーズンで引退。気合は自ずと高まります。



## 炸裂するか、泉中 Giant-killing <ジャイアントキリング>

「ジャイアントキリング」直訳は「巨人殺し」と嫌な言葉ですが、番狂わせとか大物食いの意味で使われます。格下と見られるチームや体格差で劣る者が、強い精神力や戦術の創意工夫で差を補い、番狂わせを引き寄せる様子を「称賛」の意を込め言います。正に勝負事の醍醐味ともいえる現象です。

昔からお住まいの地域の方、卒業生、保護者の方は、泉中が野球、バスケットボール、剣道等県の代表として、関東、全国と出場していた時代を御存知かもしれません。懐かしむ方もおられるでしょう。



時は流れ、生徒の数も変わり、部活動の環境も変わりました。バドミントンやテニスでは関東、全国と出場していますが、他ではなかなか勝ち抜く事が難しくなりました。

## 誰もいない校長室<校長コラム>

扉のノック音に気付くと、校長室の前に2人の女生徒。「校長先生、相談があります!」2年YYさんとKSさん。「演劇部を作って欲しいんです。昔からズッと思っていました」目的とやる事、簡単な計画を書いた書面を持ってきた。<勇気あるな。校長へのアポなし直談判。泉中では初めてだ>中身を見る。<う〜ん、ちょっと唐突、本当に出来るか?>「検討はしてみるけど、顧問と10名の部員は最低限必要だよ。創部も来年からになるね。今年は、秋の文化発表会の盛上げ企画で自分達の実績を作って様子を見たらどう?」相談相手に平川先生、神村先生を紹介すると喜んで帰った。一週間後、少し涙目で再び来室。御詫びを言いたいとの事。「準備不足でした。今回は取り下げます。」2年女子や先生、お父さんお母さんに相談して悩み悩んでの結論。神村先生から「良く勇気を出して言ってくれたね」と褒め言葉。「その気持ちを持ち続けて高校で本格的にやってみるといい。私も演劇部だったよ」と励まされ、少し元気に。<色々意見を聞いて自ら軌道修整。現実を考え、難しい報告も出来た。失敗も経験、いい勉強になったかな>

私は勝利至上主義ではありません。部活動の皆が、自ら掲げた目標に懸命に努力すること、一丸となり戦う事が大切で、敗戦や失敗は、子供達を一段高みに成長させてくれると信じています。ただ、一方、相手が全国常連校や県大会上位校だからといって、初めから諦めたり、臆したりして欲しくありません。チャレンジ無しには何も起きません。皆の知恵と工夫と精神力を持って、全力で戦って欲しいと願っています。きっと、泉中生はやってくれると信じて見えています。是非、皆さんも応援お願いします。Wカップのサッカー日本代表にも大物食いを期待しますが、泉中生が、この夏いくつの「ジャイアントキリング」を起すことになるか、大いに楽しみです。(文責:校長)

# 百花繚乱 未来に向けて <未来につながる今をご紹介>

学校はいつも変化します。主役の生徒が変わり、また、成長し、世代変わりしていきます。このコーナーは、未来につながる泉中や地域の何気ない「リアル」をご紹介します。

## 一年生 足柄校外学習 PAA 活動 (表)

### 共同作業を通して深まるクラスの絆 (文責:鳥海)

天気にも恵まれ、すがすがしい空気の中、足柄まで行ってきました。PAAとは、「プロジェクト アドベンチャー in 足柄」の略。各クラスがAチームとBチームの2つに分けられ、それぞれファシリテーターと言う指導員の指示に従って、アクティビティを行います。簡単そうにみえて、実はチームワークやリーダーシップが問われる課題ばかりが与えられます。課題がうまくいかないとき、どんなふうに助け合うか、仲間が失敗したとき、何と声をかけるか。クラスのさまざまな良さや問題が見えてきます。新入生は、小学校が



協力しあっています



真剣なまなざし

きちんと指示にのりかた

全員が手を掲げます

別々の生徒も多く、このPAAを通して初めて交流する仲間もいます。共同作業を通じて、

お互いを知り、理解して、新しい関係が出来ていきます。大騒ぎの一日。とても、充実したものでした。



堂々と司会!

笑顔いっぱい!

## PAA 活動 (裏)

### バスの中の大盛り上がり! (文責:鳥海)



自由に過ごしています

出発早々、大合唱。流れた曲は何とビートルズの「Hello, Goodbye!」英語の授業で習った曲です。「何で歌えるの?」意外な選曲に同乗の校長先生は驚きつつも、嬉しそう。「僕より上手い」と高橋昭先生。クラスの総務委員やレク係が企画した泉中クイズやビンゴ大会にバスは大盛り上がりです。おやつタイムが加わり、その元気は計り知れず。

4組の元気に同乗の先生方も驚きましたが、担任の私は毎日驚きです。

### 奈穂子の部屋<広島コラム>

なぜ、日本は四季があるのでしょうか。聞くと、日本の位置は太陽の光を受ける量の差が激しい所だからだそうです。たまたま、今の位置に生まれたことで四季を感じることができるのは、不思議で素敵なことだと思う今日この頃です。

## 二年生 鎌倉校外学習

### 班別自主行動に、責任感を持って取り組みました! (文責: 廣島)

2学年には大嵐を呼ぶという先生がおり、天候が心配されましたが、暖かい日差しの中、鎌倉に校外学習に行ってきました。途中で班員とはぐれてしまう班があったりするなど、ハラハラすることもありましたが、協力して本部と連絡し合い、無事合流。何事もなく良かったです。周囲の人に迷惑をかけないよう「食べ歩き禁止」を事前に決めた今回の校外学習。途中、アイスを食べながら歩いている生徒を発見し、注意と指導をすると、なんと食べ切るまで、直立不動。その「食べ留まり」の姿も素直でカワイク思えました。その後、班員皆で好きなランチを食べたり、神社で縁結びのお願いしたり、ブラブラ小町通りをお土産探しの散策したり…。班別の行動は初めてで、お互いに注意し合いながら、集団で取り組む姿が、とても楽しそうで、かつ頼もしく見えました。この学習を通して、一人ひとりが責任を持って行動する態度や、周りの仲間と協力する力を身につけることができたと思います。来年の修学旅行、事前に決めるルールは、全員でしっかり守って気持ちよく過ごしたいものです。どんなに成長できるか、本当に楽しみです。



大仏と一緒にピース!



楽しんでいますね!



おいしそう!



# ザ・いずみ軽スポーツ大会 自分にできること何だろう

5月19日(土)、予報に不安がありましたが、雨も降らず泉区役所横の遊水地にて軽スポーツ大会が行われました。泉区内の高齢者、障がい者の皆様方と楽しむこの大会。昨年度に引き続き紹介します。



相手と歩調を合わせて。

曇り空はいっそ、涼しくて運動に向いているくらいです。デカパン競争に、パン食い競争などさまざまな種目がありますが、それぞれどんなサポートができるのか、戸惑いながらも泉中生は一生懸命です。皆に楽しんでもらうためには…。相手の方のペースに合わせて接します。「友達とは、返事を返してもらおうことが当たり前だけど、コミュニケーションが通じて返事を返してもらえた時、とても嬉しいです」と福祉委員長の大石さん。会話が困難でもてのひらを通じて気持ちは伝わっています。



ゆっくり安全に車いすを押します。

もちろんこの活動の全てがうまくいったわけではありません。初めて障がい者の方と接したことで圧倒されてしまった生徒もいたのです。どのような距離感、どんな心情で接するのは、人それぞれ。とても難しい事です。私自身、今後より良い交流となるように、さらに福祉委員会の活動を深めていかななくてはならないと思いました。



てのひらでのコミュニケーション。

競技はもちろん一緒に楽しみましたが、それ以上に得るものは大きかったと思います。車いすで坂道を下る時は後ろむきに降りると安全なことで、とろみをつけたものをスプーンで飲むこと。目が見えない方には、声をかけてからサポートすること。軽スポーツ大会を通して多くのことを学びました。(文責：鳥海)



校長も撮影に大忙し

## お邪魔しまっす！部活体験 <普段の部活をご紹介>

授業が本校の一押しならば、部活動も大切なサブアイテム。このコーナーは、本校の普段の部活のリアルをご紹介します。公式試合や発表会は勿論のこと、普段の意外な一面をご覧ください。

### ジョバレ？ はい、女子バレーボール部です

今回は、女子バレーボール部の取材です。最初、先生方の「ジョバレ」「ジョバレ」という言葉に、初めはわからずワインの新酒の事かと思ってました。(笑) 女子バレーというと、古くは「アタックNo1」や「サインはV」に代表されるように「スポ根」(スポーツ根性物)のイメージ。



見た目より、洗い声の顧問

ふむ、ふむ

<多分、鬼コーチの怒号が飛んでるんだろうな>と恐る恐る覗いてみると、意外や意外



練習、百景とにかくスマート

皆、笑顔で楽しんでます。一年生を丁寧に教える上級生。サーブの狙い場所をゲームにして競争し合う練習に大笑い。時に集合させ、一つ一つ細かい指導を、言い含めるように伝える北原顧問。常に笑顔が絶えません。まるで、何処かの女子会みたい。<確か試合で、点が決まると楽しそうにジャンプポーズ決めてたな>とにかく、「血と汗と涙の…」とは、かけ離れた世界がありました。部長(林さん) 副部長(河地さん)にインタビューしてみることに。「今は本当に活気があります」と部長。「北原先生には、細かい所まで



個性集団をさえる2人

丁寧に指導していただいていた有難い」と副部長。去年は途中顧問も変わり、皆にも轟先生にも迷惑かけました。「まだ今、学年間の壁があって…」と林部長。皆を纏めるのは大変だ。時間がかかるかも知れないけどガンバッてね。今年の目標は県総体出場だそうですよ。(取材:校長)

## 御願

### 泉中の先生方には新鮮だった!! 6月6日の学家地総会後の懇談会

今回、泉中で初めて教職員と地域の方、保護者の方との懇談の場を作ってみました。進め方には色々反省はありますが、参加した教職員にとって地域の方や保護者の方の声は新鮮に感じたようです。是非、皆様の御声もお聞かせ下さい。今後の進め方に役立てたいと思います。(文責:校長)